

平成 25 年度

相愛大学 推薦 A 入学試験問題

国 語

注 意 事 項

(時間 40 分)

1. 問題冊子および解答用紙は試験開始の合図があるまで開かないこと。
2. 問題冊子は表紙のほかに 7 ページ、解答用紙は 1 枚である。
3. 問題は□～□の 2 問題である。
4. 筆答開始後、解答用紙の所定欄に志望学部・学科・受験番号・氏名をはっきり記入すること。
5. 解答は必ず解答用紙の所定欄に記入のこと。誤ったものは無効となる。
6. 問題冊子及び解答用紙を持ち帰ってはならない。

学部 学科	受験番号		氏 名	
----------	------	--	-----	--

相 愛 大 学

一 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

A―高校生。 B―大学教師。

A 「人文的教養」 について何なんですか。あまり聞いたことないけど」

B 「我々が、人間として生きていくために一番不可欠^①で大事なことだよ。主に a ・歴史・文学の古典の本を
読んで、人間に対する b を深めていくことだ。人間とは何かを深く理解していくことだといってもいい。こ
れが養われることによって始めて自分の立っている場所がわかってくるんだよ」

A 「抽象的^②だなあ。もっと具体的に言ってくれませんか」

B 「人生で、色々と困難にぶちあたった時、何かの組織の中にいてどういう風に決断したらよいかわからない
時、君はどうする」

A 「同じような体験をしたことがありそうな友人や先輩や家族に相談するな」

(中略)

B 「そういう時、色々な人間の悩みごとをこれまで考えてきた人たちの回答^③の集積集として右に挙げたような「古
典」といわれる本があるんだよ。だから、こうした書物を読んどくとすごく助かる」

A 「古典って人生相談回答集なんですか」

B 「まあ、それに近いようなものだ。回答がズバズバ書いてあるわけじゃなくても、同じような悩みが考えられ
てきたことを知るだけでも、自分一人がこうした悩みを悩んでいるんじゃないと判ってきて随分^④気が楽になるも
のだ。で、こうして人間ってこういうものだとかある程度判ってきた人には、「ふくらみ」が出てくるし、余裕が
ある精神状態にもなる。余裕のある人は、他人に親切になれるから、結局人間関係がうまくいきますね」

A「古典って本当にそんなに効き目のあるものなんですか」

B「もちろん読む本にもよる。いい本を選ばないとダメだ。大事な古典はたいがい文庫本になっているからそうした書物の中から、さしあたり自分の気に入ったもの、今の問題にぴったりあったものから読み出すといいだろう。でも一番いいのは読書の先達としての先生から教えてもらうことだろうな」

A「こうした教養っていうのは読書を通してしか養われないんですか」

B「そんなことはない。映画を観たり、音楽を聴きに行ったりと色々あるよ」

A「そうすると人文的教養というのは授業以外で身につけていく機会が多いということになるわけですね」

B「そうだ。授業の科目としてこうしたものをとらなれないということとは別に、大学生になったらあらゆる機会を利用してこうした教養を身につけるようにしてほしい。その後の人生で必ず、それによって励まされたり、慰められたりするはずだから」

A「大学っていうのは次の人生のためのベースキャンプみたいな所なのかな」

B「それに近いといえるかも知れない。読書も映画も音楽会もかなり時間をとる。古典は皆長い。ゆっくりと時間をかけてこうした人間の叡知（注）の果実を味わう期間は大学生の間しかないかも知れないね。そしてうまくその時間を使いきった人にはそれが次の社会人生活に生きていくわけだ。大学生活の間に培った根っこから大きな幹が育ってくるということになると思う」

（筒井清忠『大学は何のために行くのか』による。一部改変）

注 叡知（注） 深遠な道理を知りうるすぐれた智恵。

問一 傍線部の漢字①～⑤と同じ漢字を用いる熟語を、それぞれ語群から一つ選び符号で答えなさい。

①不可欠

ア カ決

イ カ計

ウ カ熱

エ カ題

②抽象的

ア 代シヨウ

イ シヨウ級

ウ 微シヨウ

エ 対シヨウ

③回答

ア カイ決

イ 政カイ

ウ 愉カイ

エ カイ復

④随分

ア ブン法

イ ブン身

ウ 伝ブン

エ 韻ブン

⑤機会

ア 散カイ

イ 奇カイ

ウ カイ体

エ カイ諾

問二 空欄 a に入れるのに最も適当な語句はどれか。次の中から一つ選び符号で答えなさい。

ア 哲学

イ 数学

ウ 化学

エ 医学

問三 空欄 b に入れるのに最も適当な語句はどれか。次の語群の中から一つ選び符号で答えなさい。

ア 理解度

イ 判断力

ウ 信頼度

エ 洞察力

問四 波線部「果実を味わう」の意味として、最も適当なものを一つ選び符号で答えなさい。

- ア 自分の教養の不足を補う
- イ 教養という甘い汁を吸う
- ウ 人類の教養の成果を学ぶ
- エ 教養を得るための種をまく

問五 次のア～エの文は、右の文章の内容について触れたものである。正しいものを二つ選び符号で答えなさい。

- ア 大学に行く目的は、教養の種類を知ることである。
- イ よりよい人生をおくるためにも、教養は必要である。
- ウ 古典は、人生の悩みにたいしてよく効く特効薬である。
- エ 古典を「人生回答集積集」、大学を「ベースキャン」にたとえることができる。

二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

〔A〕にユーモラスな一句がある。〈涼しさや人さまさまの不恰好^{ぶかつこう}〉。冷房などなかった明治の夏の様子だが、縁台や路地で、かなり楽な格好で涼む老若男女が目に見え浮かぶ。ふんどし一丁、腰巻き一枚といった「雄姿」^①にも市民権^aはあつただろう。

「六月無礼」という言葉は、暑さのきびしい時期には服装が多少乱れても大目に見てもらえることを言う。古く平家物語にも出てくるそうだ。この六月は旧暦だが、新暦六月の衣替えに合わせたクールビズの語が生まれて、はや八年になる。

最初の年は、とにかくネクタイを外した。「朝帰り」などと冷評^②されつつ、何とか板^bについてきて、去年はよ

り③切実な節電のためのスーパークールビズになった。そして今年はさらに進化しているという。

さすがに短パンで職場には――と尻込みする向きにも、七分丈のパンツが好評らしい。素材も、肌触りの涼しい「接触冷感」や汗対策の効いた「吸水速乾」などと増え、選ぶ幅はずっと広がってきた。

高温多湿の日本の夏に、洋服の仕事着は古くて新しい課題のようだ。昭和初めの本社刊『明治大正史』は、夏場の大汗に「日本が北緯四〇度以上の大陸国であつたら」と記し、「我々の仕事着はまだ完成していない」と書いている。平成の今も、模索は④⑤継続中だ。

職場職場で「六月無礼」の幅を、無理なく、されど広く取りたいものだ。多少ラフで不格好でも、歩く人が多くなれば道はできる。味わい深い古言を、Bにするのはもったいない。

（朝日新聞『天声人語』二〇一二年六月五日による。一部改変）

問一 空欄 A には明治時代の俳人が入る。次の人物中から選び符号で答えなさい。

ア 小野小町 イ 松尾芭蕉 ウ 正岡子規 エ 源実朝

問二 傍線部の漢字①⑤と同じ漢字を用いる熟語を、それぞれ語群から選び符号で答えなさい。

①雄姿

ア 盟ユウ イ 固ユウ ウ ユウ弁 エ ユウ閉

②冷評

ア 慣レイ イ 虚レイ ウ レイ遇 エ 壮レイ

③切実

④模索
ア セツ劣 イ セツ約 ウ 概セツ エ 適セツ

⑤継続
ア サク為 イ 検サク ウ サク乱 エ 散サク

ア ケイ倒 イ ケイ統 ウ ケイ約 エ ケイ承

問三 傍線部 a b c の文中での意味として最も適当なものを、それぞれ選り符号で答えなさい。

a 市民権

ア すでに認められたことがさらに特別な意味を強めること

イ 国家の政治に参加できる権利をもつこと

ウ 人間が人間として当然持っている基本的な権利を行使すること

エ 一部だけに行われていたものが広く一般に認められること

b 板についてきて

ア 出版した作品が評判を得るようになってきて

イ 経験を積んでいかにも似合ったものになってきて

ウ 気になった態度がだんだんに忘れられてきて

エ 役者の動きが舞台にじっくりいくようになってきて

c 尻込みする

ア 不安になってするのをためらう

イ 本心を隠しうそをついて行動する

ウ 一つのことにとだわり同じところを動かさない

エ 理由をつけて物事を始めない

問四 空欄 B に入る最も適当な語を次の中から選び符号で答えなさい。

ア 虚言 イ 格言 ウ 隠語 エ 死語